

学校番号	1	学校名	沼津視覚特別支援学校	校長名	山崎 久美子
------	---	-----	------------	-----	--------

1 目指す学校像

- ・ 幼児児童生徒が 『学びがいのある学校』
- ・ 外部の関係機関が 『頼りがいのある学校』
- ・ 保護者・保証人が 『通わせがいのある学校』
- ・ 地域が 『応援しがいのある学校』
- ・ 職員が 『働きがいのある学校』

(1) 教育目標 『自立する人を育てる』

- 【自立する人とは】
- ・ 《知》 豊かな感性と考えをもつ人
  - ・ 《心》 他者と自分を愛する人
  - ・ 《体》 健康な体を保つ人
  - ・ 逞しく自らの未来を切り拓く人
  - ・ 必要な支援を依頼でき、それに感謝できる人

(2) 目標具現化の柱

- ア 視覚障害教育を中心とした授業力の向上と専門性の維持・向上
- イ 心身の健康の保持・増進とキャリア教育の充実
- ウ 地域への理解推進・連携とセンター的役割の遂行
- エ 緊急時・発災時への対応と安全安心で魅力的な環境づくり
- オ 働きがいとワークライフバランスの維持

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 視覚障害教育を中心とした授業力の向上と専門性の維持・向上	<b>視覚障害に留意した「主体的に学び思考を深め表現する授業づくり」</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「主体的に学び思考を深め表現する授業づくり」に向けたグループ研修と一人一授業公開</li> <li>・ 他校の研修会や学習会に参加する機会の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修や授業公開が授業改善や授業力向上に繋がった教員 100%</li> </ul>	研修課 各学部
	<b>視覚障害教育に必要な専門性の向上（ICT活用や情報保障を含む）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な専門性を研修する機会（年4回以上）や情報を得る機会（年3回以上）の設定</li> <li>・ 専門性チェックリストの活用（年2回以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身の専門性の維持・向上ができた教職員 90%</li> <li>・ 自身の専門性や課題が実感できた教員 90%</li> </ul>	自立活動
イ 心身の健康の保持・増進とキャリア教育の充実	<b>将来を見据え、各ステージで大切にしたいことを意識した指導</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリア教育や幼児児童生徒が将来につながる各ステージで大切にしたい力について研修する機会、年6回以上</li> <li>・ 個別面談で将来の話やそれにつながる現在の指導について保護者と共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習会や進路指導課からの情報提供がキャリア指導の役に立たと答える教員 90%</li> </ul>	進路指導 各学部
	心身の健康の保持・増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養教諭と連携し、学習と関連付けたおススメ献立の立案7回</li> <li>・ 給食づくり隊で食材をじっくり見て触る機会の設定6回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児児童生徒が献立や食品、地域の産物に対する興味関心を広げることができたと答える教職員 90%</li> </ul>	体育保健 各学部

様式第1号

ウ 地域への理解推進・連携とセンター的役割の遂行	超早期から成人までの切れ目のない教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センター等への理解推進・教育相談活動4回以上</li> <li>・共感的な雰囲気、安心と満足感を得られる教育相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センター、保健所への理解推進活動年間4回</li> <li>・相談者アンケートで、よかった以上をつけた相談者80%</li> </ul>	支援部
	<b>本校と視覚障害について東部地区における理解推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部地区市町、障害福祉課、ハローワーク、関係機関への理解推進（30か所以上訪問）</li> <li>・医療福祉教育担当者会、放デイ担当者会、体験教室などの実施</li> <li>・マッサージ奉仕を実施した際、学校情報の掲示やリーフレット配布による本校の紹介活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを実施し、訪問により理解が深まった80%</li> <li>・参加者アンケートで、よかった以上をつけた参加者70%</li> </ul>	支援部  高等部
	地域における人との関りの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（小中学部）地域の方との花壇の植栽や手入れ</li> <li>・（高等部）地域やイベント等でのマッサージ奉仕の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（小中学部）花壇づくりを通して、地域の方と関わりが持てた児童生徒80%</li> <li>・（高等部）地域やイベント等でのマッサージ奉仕年5回以上</li> </ul>	各学部
エ 緊急時・発災時への対応と安全安心で魅力的な環境づくり	一人一人が緊急時や発災時にどのように動くかわかる緊急体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所や時間、状況を具体的に設定した実践的な訓練の実施</li> <li>・危機管理マニュアルの重要事項の共通理解のために年3回以上読む機会の設定</li> <li>・地域との防災協力の推進するために、マンホールトイレ設置訓練や連絡会議、実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時に自分で判断し、自信をもって避難行動、緊急時の対応が行えると思う職員80%</li> <li>・地域と防災協力を行うことができたと感じる地域の人、職員80%</li> </ul>	生徒指導 体育保健
	児童生徒が安全安心に活動でき、魅力的な環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内安全点検の実施 月1回</li> <li>・危険箇所及び改善事項への迅速かつ計画的な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境の不備を原因とした事故の発生0</li> <li>・校内で自分の好きな場所があり、伝えることができる幼児児童生徒80%</li> </ul>	体育保健 事務部
オ 働きがいとワークライフバランスの維持	専門性向上と授業準備ができる時間確保のためのタイムマネジメント意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成日の設定</li> <li>・掲示板や回覧を活用した会議時間の短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後が有効に活用できたと考える教員90%</li> </ul>	教務 各学部 管理職
	<b>個々の強みを活かした風通しのよい職場づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の強みを集めた沼津視覚人材バンクの活用（1回以上）</li> <li>・小グループでの話し合いの機会を設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚と相談・協力しながら、高めあうことができたと答える教職員90%</li> </ul>	管理職 自立活動 各学部